

里山の自然を守る活動に参加しませんか

里山の生物多様性を守ろう

2024

富田林・里山保全ボランティア養成講座

受講料  
無料



—この講座は森林環境譲与税を活用して取り組まれています—

主催：富田林市

協力：富田林の自然を守る会

里山はかつては生活に必要な薪や炭などを得ていた雑木林です。人の手が加わった山なので二次林とも呼ばれています。しかし、近年は燃料が石油、ガス、電気などに替わり、薪や炭の需要がなくなって、人の手が入らなくなり、林床が薄暗くなって林床植物が育たなくなるなど里山の荒廃が進んでいます。また、スギ、ヒノキが植栽された人工林は間伐などの管理が不十分となっています。さらには雑木林や人工林にモウソウチクが侵入し生物多様性が著しく低下した森林が増加しています。

この講座では、最初に里山とは何か、里山の現状などを学びます。そして、里山の3つの問題である雑木林、竹林、人工林での保全活動を実習します。講師はいずれも里山保全の活動を20数年にわたり実践してきた富田林の自然を守る会のスタッフが担います。

## 1. 里山保全と生物多様性

—里山保全はなぜ必要か <里山の成り立ちと生物多様性>—

日時：2024年11月9日（土）10:00～15:00

午前：講義<里山保全と生物多様性>

午後：里山の見学(奥の谷の里山を歩いて里山の現状を観察し、保全の必要性を学びます)



人工林間伐作業

いい汗かいて里山を守る

## 2. 雑木林の管理作業<実習>

—雑木林の下ごり、老朽化した大径木の伐採など—

日時：2024年12月22日（日）10:00～15:00

長期間管理放棄された雑木林の林床には、ヒサカキなどの照葉樹やササなどが繁り、薄暗くなって、ササユリやチゴユリ、ショウジョウバカマなどの林床植物がほとんど見られなくなっています。ヒサカキなどを適度に伐採し(必要があればコナラなどの大径高木も伐採)林床を明るくして、林床植物をよみがえらせます。

## 3. 竹の除伐・竹林整備<実習>

日時：2025年1月26日（日）10:00～15:00

モウソウチクは江戸時代に中国から日本に持ち込まれました。近年竹林の管理が放棄され、雑木林や人工林に侵入して生態系に大きな影響を与えています。これらの竹を除伐し、あるいは美しい竹林として管理します。

## 4. 人工林(スギヒノキ林)の間伐<実習>

日時：2025年2月23日（日）10:00～15:00

戦後の拡大造林政策で、多くの森林にスギやヒノキが植えられました。その後、間伐などの管理がなされず、林内が薄暗く林床に植物がほとんどない人工林があちこちに見られます。この実習ではスギ、ヒノキの伐採(間伐)を行います。

講師：富田林の自然を守る会役員会  
<全ての講座で午前中のみの参加も可能です>

場所：奥の谷(富田林市彼方) 定員：先着20名 持ち物：弁当、水筒 服装：長袖、長ズボン(用具、ヘルメット、革手袋、スパイク付き長靴などは用意します)

参加を希望される方は

右記のQRコードから申し込んでください。

問い合わせ先

上角敦彦 TEL 080-3830-8757

